

第3回定例会

2名の議員が一般質問を行いました。
(紙面の都合上、質問と答弁は要約しています)

・一般質問①

一 般 質 問



三田 真美 議員

各産業における人員不足
町が考える今後の支援策は

町長 … 助成対象の拡大を検討中
関係団体との協議を進め取り組む

各産業の雇用対策と後継者支援について

【質問】

現在、商工業の雇用支援として、大型自動車免許等取得費補助金、建設技術者養成修学資金などの支援を行っていますが、商工業だけではなく農林水産業などにも決して人が足りている状況とは思えません。町として他産業にもどのような支援ができるのかお伺いします。

また、農業や水産業、商工業の後継者支援として「さろまちこん」を開催していましたが、コロナの影響で開催ができません。そのため、それらの取組みをオンライン等の婚活事業に変換し、こちらに補助するなど、今後の後継者支援をどのように考えているのかお伺いします。

【答弁】(町長)

まず、農業については、農業振興条例に基づき、農協や他の農業関係団体と協力して、担い手対策に取り組んでおり、後継者に対しても、農業後継者育成支援対策事業実施要綱により、農用地の取得や農業用施設の整備、家畜等を導入するための借入れ資金に対して10分の1以内、500万円を限度として支給を行っています。

雇用対策については、昨年、今年と新型コロナウイルスの影響により参加を見送っています。が、東京、大阪、札幌で開催される農業フェアに参加をし、新規就農者誘致及び新規雇用に向けては、農協が整備した農業体験実習宿泊施設

「ほーぷすたーサロマー」の利用に際し、支援を行っています。また、農協青年部が中心となり、1日農業バイトをスマートフォンやパソコンを利用しての求人アプリを活用し、収穫時など繁忙期の雇用の確保に努めています。

【質問】

本町は農業だけではなく、水産業や漁業、林業もあることから、大型自動車免許の取得費の補助について、商工業だけではなく、他産業に対してどのように考えているのかお伺いします。

【答弁】(町長)

農業を含めた全職種に対してということについては、昨



年、私の選挙公約の中でも、これを全体に広げていきたいという考えは持っており、現在検討中であるため、ある程度の方向性が決まった際は、議員の皆さんとも協議をさせていただきたいと思えます。

新型コロナウイルス感染症の対策について

【質問】

今後の感染者の増加に伴い、本町でも自宅療養といった対応策があるのかお伺いします。

【答弁】(町長)

感染者への対応としては、入院、療養施設への入所、そして自宅療養に分けられ、それらは保健所の判断で決定されるため、町が独自に決められません。

仮に、町内での感染者が増え、自宅療養者が増加した場合、その方の生活環境にもよりますが、生活必需品の購入や食事を取ることが困難になった場合など、町がそれらを届けるといった支援を行うこととなりますが、こちらも保健所の指示によって対応することになります。

第3回定例会

・一般質問②

※「国保税の減免制度について」の質問は、紙面の都合上、割愛しました。



但木早苗 議員

新型コロナウイルス感染症対策（PCR検査）について

【質問】

長引くコロナに住民の不安、心配、我慢等に疲労感が増すばかりです。

国は学校での感染防止対策として、小中学校に抗原検査の簡易キットを配付するという方針を打ち出したようですが、検査機会の提供も町の役目ではないでしょうか。

感染予防対策の一つとしてのPCR検査について、町の考えをお伺いします。

【答弁】（町長）

PCR検査は、感染予防対策の一つとっております。

自費とはなりますが、クリニックさるまでは、今年の4月からPCR検査1件につき2万7500円（税込み）で

今後の新型コロナウイルス対策や福祉問題など

町の体制と具体的な対応策は

町長：一人の人を救えないのは福祉ではない

各分野と幅広く連携を取り対応する

受けられる体制を取っており、現状では当検査に対して町が助成する考えはありませんが、今後の感染拡大などといった状況となれば、次なる支援としては考えていかなければならないことだと思っております。

加齢性難聴者の補聴器購入助成について

前回の質問時の答弁で、「支援は重要と考えているが、実態把握のため地域ケア会議での協議を検討していきたい。また、第8期介護保険事業計画に向け検討したい。」という答弁がありましたので、以下についてお伺いします。

【質問①】

実態調査と地域ケア会議での協議結果について、お伺いします。

【答弁】（町長）

昨年、介護保険サービスを利用している高齢者を対象にアンケート調査を実施した結果、耳が聞こえないから外出しないという意見はほぼなく、また、ケアマネージャーからも聴力と外出との関係は特にないと感じるといった意見もあり、それらが原因で引きこもりに繋がるといいう方は少ないと判断しています。

今の答弁は、主に外出に關しての調査内容だと思いが、私が受けた相談は、「家族との会話が大変で、何度も聞き返されて話すのをやめてしまう」というもので、コロナ禍で外出を控える中、家族との会話が大変だという状況は、大きな問題だと思いが。

【質問②】

検討すると言っていた第8期介護保険事業計画には、全

く触れられていなかった補聴器購入助成について、町の考えをお伺いします。

【答弁】（町長）

「一人の人を救えない」これは福祉ではないと考えています。

町として、現状では計画に載せていませんが、他町村の取組状況などを確認しながら、今後は検討を進めていきたいと考えています。

ふれあいバス運行について

【質問】

高校前の停留所を出たバスは、教員住宅と勤労者団地の間を通り、バスターミナルへ帰るようですが、団地居住者の年齢構成が変わり子供が多く、不安であるといった声が上がっていることから、運行経路の見直しができないか、町の考えをお伺いします。

【答弁】（町長）

4台のバスが折り返す際、保護者の送迎車や、自転車を利用する生徒との接触事故、また、道路の混雑を避けるための経路ということで、ご理解いただきたいと思います。